



青少年赤十字のご案内

子どもたちの「生きる力」や
「やさしさと思いやりの心」を育むために、
赤十字が提供できること。



- 1 「いのちを守る」プログラムを提供します
 - 救急法等の講習、炊き出しなど
- 2 リーダーシップを育成するプログラムを提供します
 - リーダーシップ・トレーニングセンターの開催
- 3 先生方のサポートをします
 - 指導情報など役立つ資料を提供
 - 指導者対象の研修会を開催
- 4 教材・ツールを提供します
 - 人権や防災に関する各種教材を提供
 - メンバーとして意識をもって活動するためのツールを提供
 - ハートラちゃんの着ぐるみの貸し出し
- 5 助成金を交付します
 - 希望のあった学校に、年間2万円の活動助成金を交付

青少年赤十字って？

日本赤十字社が行う 9 つの事業のひとつ。

全国各地の小・中・高等学校で導入されています！

赤十字の誕生

1859 年、スイス人のアンリー・デュナンは、イタリアで悲惨な戦争を目のあたりにして「傷ついたものに敵も味方もない。」と、人々と協力して、すすんで負傷者を差別なく懸命に救護しました。その後、デュナンの訴えと努力により、1864 年、戦争における傷病兵の保護を定めたジュネーブ条約（赤十字条約）が結ばれ、赤十字が正式に誕生しました。

現在は、締結国は 192 ヶ国となっており、これは世界共通のルールであるとも言えます。赤十字は、このデュナンの人道・博愛の精神に基づいて、活動しています。

青少年赤十字（JRC = Junior Red Cross）とは

青少年赤十字（JRC）は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕する心、そして世界の人々と分かり合う姿勢を育むことを目的として、日常生活や学校教育の中で様々な活動を展開しています。



そして、この目的を達成するために、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の 3 つの実践目標を掲げています。また、主体性を育むために「気づき」「考え」「実行する」という態度目標を掲げています。

実践目標

健康・安全

生命と健康を大切に

奉仕

人や社会のために

国際理解・親善

世界に目を向けて

態度目標

気づき

身近な問題を
発見する

実行する

活動に取り組み
評価と反省を
次に活かす

考え

問題解決のための
道筋や方法を
探る

赤十字を活用して、学ぶ

子ども向けにこんな講習を行っています！

学校の授業時間に合わせて取り入れることができます。

人権教育

やさしさと思いやりの心を考えながら、
命の大切さを学べます！



防災教育

災害時、被害を減らすために、
自分たちにできることを学べます！



BLS（一次救命処置）短時間プログラム

心肺蘇生と AED を用いた実技を通して、
一次救命処置の体験しながら、命の大切さを学べます！



詳しくは、こちらから

指導者や
必要な教材は、
赤十字が用意します！
(※一部資材は有料)



教材・ツールもご提供します！

- 人権教材データ「新型コロナウイルスに負けない心づくり」
- 防災教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」
- 防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」
- 青少年赤十字グッズ（バッジ・ワッペンなど）
- ハートラちゃんの着ぐるみの貸し出し



長野県の青少年赤十字活動の実例

学校ごとに、さまざまな活動が行われています。

他校の JRC メンバーと交流する機会も！



差別や偏見がなくなることを願って、シトラスリボンを作成！



栽培した野菜の提供と活動への参加で、子ども食堂を支援！



伴走伴歩活動で視覚障がい者スポーツを応援！



手話を使う方のために、口元が見える透明マスクを作成！



落ち葉掃き活動で、自分たちの街をもっと綺麗に！



明日も来たくなる学校を目指して、元気に挨拶運動！



大切に育てたバラで、感謝を伝えるサンクスローズ！



緊急用トイレキットを作成し、災害への備えを考える！

青少年赤十字への加盟について

- 全校はもちろん、委員会や学年、学級、部活単位で加盟することができます。
- 青少年赤十字活動は、県民の皆さまからいただく活動資金によって支えられています。そのため、加盟に伴う負担金の徴収は一切ありません。
- 地域や世界の人々の平和や福祉に貢献するような活動を、学校の裁量で自由に行うことができます。

⇒ お問い合わせは、「**日本赤十字社長野県支部**」(TEL 026-226-2073) まで